



今年度の環境サロン、いろいろな企画で開催中！



環境サロンは、身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学びあえる場、語りあえる場です。毎回、講師の方をお招きして開催されています。一度だけのご参加も歓迎です。ぜひ参加されませんか！

第9回環境サロン

「伝えたい情報を、伝えたい人に届ける」

講師：清水 義弘さん（ためまっぷ代表）

日時：平成28年12月14日（水）18:00～

場所：まちなか環境学習館

資料代：200円 高校生以下無料（100エコハ進呈）

申し込みは不要です。

当日、直接会場にお越しください。

情報氾濫の時代ですが、意外に「伝える」ことは簡単ではありません。人のため、地域のために伝えたい情報をどのように伝えるのか、広島を中心に、ユニークな実践をされている方から学び、議論します。

「環境サロン」に関するお問合せ

まちなか環境学習館 電話 39-8110



エコ教室開催します！

身近な環境問題について、わかりやすくお話をするエコ教室。子どもからおとなまで誰でも参加できます。次回は第22回まちなかエコ市場で開催します。参加無料。エコハ券2枚進呈。

第22回まちなかエコ市場

とき：12月3日（土）

Day 13:00～16:00 軽トラ市、リユース広場、各種出店

Evening 16:30～19:30 ステージ、占い

ところ：銀天エコプラザ、中央街区公園アーケード、にぎわい宇部

「エコ教室」は、にぎわい宇部交流スペースで開催します。
開催時間：13:00～16:00



今年度のサロンは、これまでと違い、
①宇部志立市民大学環境学部OB会等と共同企画
②地域教育力向上に関わる環境省事業と連動して進めています。そのため他の環境関連団体との連携や見学を伴う出張サロンが多くなっています。また、里山維持や市民共同などの実践活動にもつながりつつあり、6年目にしてようやく新しい発展段階に入ることができました。皆様のご参加をお待ちしています。

「竜王山の山野草とアサギマダラを訪ねて」
企画/宇部志立市民大学環境学部OB会



「みやまスマートエネルギー&トータルケア・システム見学会」
企画/宇部環境国際協力協会



まちなか銀天おそうじ隊募集！

まちなかおそうじ隊は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や塩田川、中川などを掃除しています。メンバーは、その日集まってきた方々。みんなで「まち」をきれいにしませんか。社会貢献と掃除後は茶話会のひと時を♪

12月25日（日）13:00～

ースタート時間が通常と異なりますー
まちなか環境学習館前に集合です。
(道具は用意しています)
おそうじ隊参加者には
環境地域通貨エコハ2枚進呈！



宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com> [kuru.com](http://www.kuru.com)

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

Facebook や Twitter へも、こちらからアクセスできます。



まちなか環境学習館の活動紹介

まちなかおそうじ隊のこの頃

今年度は、おそうじ隊の活動をより発展的に進めるために、山口県環境保全事業団の助成を受けています。中川、塩田川、床波海岸などへ出張して、どんなごみがどれほど散乱しているのか、宇部高等学校 SGH（スーパーグローバルハイスクール）の3R 研究班の協力を得て、ポイ捨てごみの実態調査をしています。

“うべっくる” ブログに結果を紹介しています。

http://www.ubekuru.com/blog_view.php?id=4275

このためか、最近是一般の方々の参加が非常に低調になっています。12月および1月にも定期日以外にも実態調査を行います。ご参加期待しています。

とき 12月4日(日)、12月25日(日)
いずれも13時から

集合 まちなか環境学習館前



床波海岸で
ポイ捨てゴミを収集



ゴミを学習館に持ち帰り分別



分別したゴミの計量

うべ環境コミュニティー ☆ 会員コラム ☆

里山の樹木が消えていく?!

— 竹林繁茂の問題と私たちができること —



国道 490 号線を北上し琴崎八幡宮を過ぎるあたりから、一気に里山の風情が色濃くなっていく。緑したたる里の山景色に心がなごむが、沿道の木々を見渡すとあちらこちらに密集した竹林が増えて、樹木を覆う様子が見られる。市内のさまざまな場所でマダケ(真竹・苦竹)やモウソウチク(孟宗竹)ハチク(淡竹)の繁茂によって里山の森が侵食され、樹木が枯れて消失している。市内や近郊の高速道路を走っていても山々に竹林が目立ち、植樹された若木に竹が覆いかぶる光景なども見受けられる。



竹による森の侵食

山口県では「山口森林づくり県民税」を活用し、年間約4億円を投じて「竹繁茂防止対策事業」「公益森林整備事業」などを実施しているが、どれほどの効果を上げているのだろうか。市域の取り組みの現況や具体的な対策方法を求めて、美祢市にある「カルスト森林組合」を訪ね、お話を伺った。

《繁茂を食い止めるためにできる事…竹との共存が有効》

竹は光を求めて外側へ外側へと地下茎をのぼしタケノコを生やして拡がっていくので、密集した竹林は瞬く間に勢力を広げて樹木を飲み込んでいくことになる。

また、竹の繁殖力は無限なので、竹林の切り取りを三年間続け、いったんは生えなくなったようでも十年もたてばもとに戻るとのこと。そこで有効な方法は

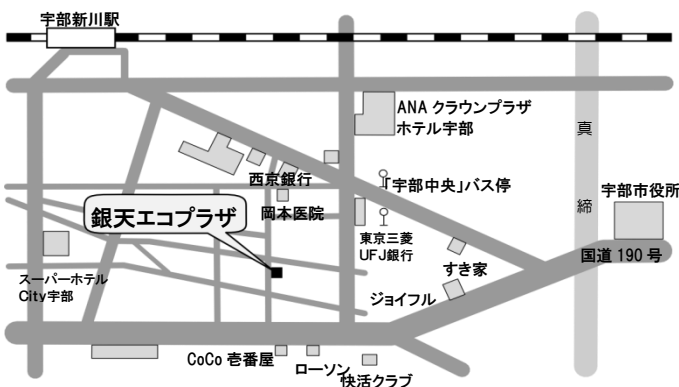
◎全て切るのではなくて日差しが入る様に間引き整備する事。日が入れれば外側へと地下茎を拡げるのを抑えられる。

◎効果的な伐採時期は春。タケノコが伸びて竹になり最初の枝と葉が出てくる頃で、この時期に根元から切ると地下茎が枯れる。

◎成長した竹を切るのは「中段切り(根元から1m程のところ)」が効果的。竹が生きてると勘違いして?! 養分を送り続けるので、地下茎が弱る。

◎伐採した竹は竹林の囲いとして積み上げ、イノシシなどの侵入を防ぐのに活用する。

他には、県の森林整備事業を利用し竹林の伐採を依頼する。また、積極的にタケノコを掘りあげ、食材にしていくことも有効である。地域ブランドである「うっぽく(宇北)たけのこ」(水煮たけのこ)は具材の味がよくしみ込んで馴染むので、伝統的な和食にとどまらずどんな料理にも使えるとのこと。さまざまな具体的取り組みを通してまちと里山がつながり、私たちの里山の森を守り育てていく必要性を痛感している。
(池田 良鶴)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)